

「申12号新型コロナウイルスによる肺炎対策に関する緊急申し入れ」について議論

新型コロナウイルスによる肺炎患者が、中国から日本国内へと拡大し、社会的影響は日ごとに深刻の度を増しています。

地本は、社員の安心安全の確保、乗客への感染拡大を防ぐためにも、会社が責任を持って具体的対策を実施するよう「申12号新型コロナウイルスによる肺炎対策に関する緊急申し入れ」を行い、2月6日、幹事間にて回答を得、議論してきました。

回答と主な議論は以下の通りです。

1. 会社の事態に対する認識と現時点での対策を明らかにすること。

【回答】「新型ウイルス感染症本社対策連絡本部」を設置し、社内外の関係箇所と情報共有を行うと共に、社員への感染予防の注意喚起等を行っている。引き続き、国等から出される情報や要請に基づき適切に対応していく。

2. 会社が責任を持って、具体的な感染防止対策を早急を実施すること。

【回答】新型コロナウイルスの国内外の感染状況を踏まえ、お客様に安心して当社の鉄道をご利用頂けるよう、1月31日以降、準備出来次第、新幹線全駅、及び、在来線主要駅の改札の有人改札ブース、及び、出札カウンターに手指消毒用の消毒液を設置しており、2月5日以降は、これを在来線全有人駅（業務委託駅含む）に拡大している。引き続き、国等から出される情報や要請に基づき適切に対応していく。

3. 全ての社員、乗務員、関連・協力会社社員にマスクを配布し、着用するよう指導すること。

【回答】社員に対して、手洗い、うがい、咳エチケットの励行等を行っており、接客業務に当る社員については、1月31日以降、マスク着用を希望する場合には着用を認めることとしている。マスクは、各自で用意することを基本とするが、入手が困難である場合には個別に管理者に相談されたい。なお、関連会社については、各社の判断となる。

4. 社員の感染発病が確認された場合の勤務の扱い、感染拡大防止対策などについて、具体的な考えを明らかにすること。

【回答】社員への感染が確認された場合には、状況に応じて適切に対応を行う。

【主な議論】

組合：社会的にも不安が広がる中、形は幹事間での議論とはなったが、緊急申し入れの意図に応じての早急な回答に敬意を表する。

会社：会社としても、「新型コロナウイルス感染症本社対策連絡本部」を設置し、万全を期している。何にせよ、まだ流動的部分が多いが、国の情報や要請に対応していく。

組合：マスクは入手困難になってきた。管理者に相談と言うが在庫はあるのか。

会社：過去にSARSの経験もあり、備品の確保には早くから着手している。その備蓄しているもので対応する。

組合：関連会社の対応はどうなっているか。

会社：CMC等は当社と同じ対応を取っている。概ね同じである。

組合：車両の車内清掃方について、消毒を強化といった変更などはあるのか。

会社：そのような特別な指示は来ていない。

組合：最初、流動的と言われたが、まだまだ分からないところが多い。新たな情報には迅速に対応されたい。

会社：国の情報や要請に応じ適切に対応していく。

以上